

抜きつ、抜かれつ

スーパーウェーブ・長坂

伝統あるMCCのレースも今回は3艇の参加でした。もう10艇以上の参加は夢のまた夢になりました。小春日和と言うのか、残暑の中のレースと言うのか、天候は絶好のレース日和であるが、風は超微風のなか、各艇苦労しながら40分遅れのスタートでした。

最初のマークである豊橋潮流ブイまで3艇にて抜きつ、抜かれつの接戦のなか、我がスーパーウェーブ（以降SWに略とする）はスナメリ数頭の応援もあり豊橋潮流ブイをトップ回航であった。

次のマークである佐久島東の観測ブイへは各艇それぞれの思惑にて少しの風を拾いつつ、コースを選択する。結局トップは「ホーネット」、2番手は「ダンシング・ビーンズ」、3番手にSWで廻航するもそんなに差はない。

復路の豊橋潮流ブイまではスピンの走りでしたが、各艇付かず離れずのスピンランであったが、SWはブイ手前で「DB」をかわし2番手とする。そのままの順位でフィニッシュいしましたが、SWはトップフィニッシュのホーネットにかなり追いつき、修正順位でSWが優勝となりました。

コミッティのランナーの北河さん、風のないレースでフィニッシュまで取っていただきありがとうございます。

最後にもう少し参加艇が欲しいですね。

ホーネット

風速がゼロになることはありませんでしたが、終始微風のレースでした。

スタートから何度も順位が入れ替わりましたが、豊橋潮流ブイで3位の回航。

佐久島手前の潮流ブイ手前の2タックで風の振れに恵まれ、先頭で回航できました。

復路は、豊橋潮流ブイ手前のジャイブが早すぎ、2ジャイブ余分でした。

大島通過後、風が落ち後続艇に挽回されてしまいました。なんとかタイムリミットないにフィニッシュできました。

佐久島手前の潮流ブイの回航方向、元コースが佐久島、生田ブイを時計回りにということ。それに倣い、時計回りと判断しましたが、正しかったでしょうか。

ダンシングビーンズ

当日は風が無くスタート延期、何とかスタートしてから超微風の中を上手く走り一進一退で佐久島東潮流ブイまでに後続艇を相当離してトップ回航できると皮算用していると「時計回り」ですというクルーが言う。

「そんな馬鹿な！アंकロに決まるとるじゃん」会長に電話確認すると「アंकロ」だとの返事。

「そらみろ！」長い経験上ここをクロックは無いわ、北からアプローチして回航を目指す。突然電話が鳴って「クロック」でとの事。「なにー！」時すでに遅し、せっかく引き離れた後続艇にやられてしまった！帆走指示書には佐久島&生田回航は時計回りとある。しかしながら風が無いとの予報からコース変更で佐久島東潮流回航に変わっている。ところがここに回航方向の記述はなかった！後の祭りである。

事前に確認するべきであった。悔いの残るレースでした。

